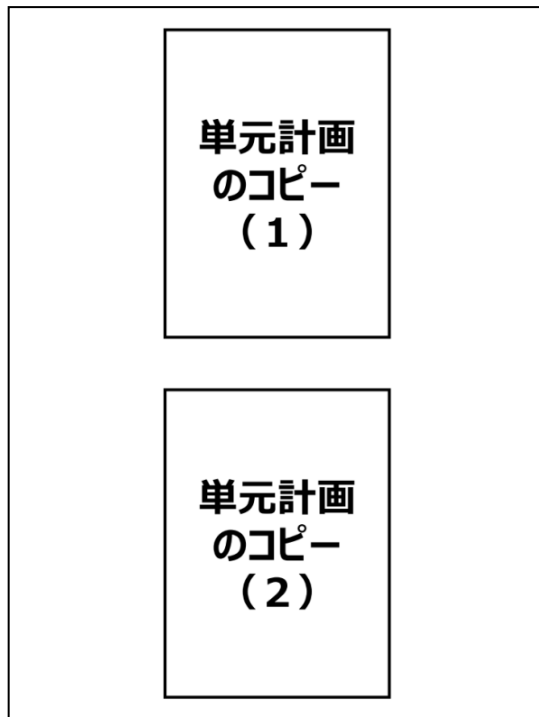


## 研修プランB13

# 子どもの問い・気づき・考えをイメージして単元等を見直す

- 目的 主体的・対話的で深い学びの実現にあたっては、単元レベルによる授業改善が欠かせません。そこで、ある授業の単元や題材（以降、単元と略）の計画を用いて、児童・生徒の意識（問い、気づき、考え）をイメージしながら見直し、改善点を明らかにする研修会です。
- 対象 校内
- 時間 60分
- 形態 全体→グループ→全体→個人  
※グループの分け方：3～4名で教科が混在しているグループ構成
- 準備物 付箋（10 cm×7.5 cm、2色：水色・ピンク色、グループ数×各10枚くらい）  
赤いフェルトペン（グループ数）  
拡大した単元計画（グループ数）
  - ・模造紙大に拡大できる印刷機がある場合は、単元計画を拡大コピーする。
  - ・拡大できない場合は、単元計画を模造紙に貼り付ける。



- ・本研修プランで使用する単元計画は、次の内容が入っている部分をコピーすることとする。
  - ① 単元の目標
  - ② 1時間ごとの学習活動
  - ③ 1時間ごとの教師の指導・支援

パットリフレクションシート（人数分）

## ●研修前

○本研修で扱う単元計画を含めて、学習指導案は事前に配布しておく。研修に参加する教員は単元や題材を通して、児童・生徒がどのように学んでいくかをイメージしながら読んでおく。

## ●研修

| 流れ                          | 進め方                                     | 留意点等   | スライド番号      |
|-----------------------------|---|--|-------------|
| 1 研修の説明<br>【全体】<br>(5分)     | ○会の目的等を確認し、見通しを持つ。<br>○新学習指導要領の抜粋を読む。   | ○目的は上記「■目的」参照<br>○流れは左欄「流れ」参照<br>○新学習指導要領の抜粋を読み、単元や題材といった内容や時間のまとまりを見通した授業改善の方向性を知る。   | 1<br>2<br>3 |
| 2 単元の説明<br>【全体】<br>(10分)    | ○単元計画の説明を聞き、不明点等を明らかにする。                | ○学習指導案は事前に配布済みのため、説明は要点的に行う。<br>○不明点は、この後のグループ協議で解決することとする。  | 4           |
| 3 グループ協議<br>【グループ】<br>(20分) | ○単元の展開に沿って児童・生徒の意識の流れをイメージし、改善点を明らかにする。 | ○拡大した単元計画を机の上に置く。<br>○個人で付箋を書く時間は取らず、全員で意見を出し合いながら付箋に書く。<br>○付箋の色分けは次の通りとする。<br>黄色：予想される児童・生徒の意識<br>ピンク色：指導・支援の改善点<br>○児童・生徒の意識がつながりにくい場面や教師の指導・支援との対応を考え、改善点を明らかにする。<br>○明らかになった改善点は赤いマジックで囲んでおく。 | 5           |
| 4 グループ発表<br>【全体】<br>(20分)   | ○各グループの発表を聞き、改善に向けたアイデアを出し合う。           | ○グループごとに「明らかになった改善点」と「その理由」を発表する。<br>○進行係は、共通する改善点を赤く囲んだり、類似した理由をつなげたりしながら、共通して改善すべきと考える点を明確にする。<br>○改善に向けた方策を協議する。その際は、一つの方向に集約することを目的とせず、改善に向けた多様なアイデアが出るように配慮する。                                | 6           |
| 5 まとめ<br>【全体】<br>(1分)       | ○明らかになった内容を全体で確認する。                     | ○進行係は、明らかになった「改善に向けたアイデア」を説明する。  | 7           |
| 6 省察<br>【個人】<br>(4分)        | ○本研修の内容や成果を振り返る。                        | ○「パッとリフレクションシート」を使って記述した後、短時間で交流する。  | 8           |

## ●研修後

○授業者（本研修で扱った単元計画の作成者）は、本研修で出された多様なアイデアを参考としながら、単元計画を改善する。